

# 平成20年度 南丹市事業評価表 (平成19年度 実施事業)

事業CD. 5315 事業名: 観光イベント振興事業  
 細事業名: \_\_\_\_\_

政策体系上の位置付け (参考)  平成20年度～ 総合振興計画実施事業

政 策: 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る  
 基本施策: 4 ひとを温かく迎える  
 主な施策: (3) イベント運営

所管部署名  
 部局名: 農林商工部  
 課 名: 商工観光課

科目CD. 1070103 作成日 平成20年10月23日

事業分類: B:ソフト事業  
 新規事業  時限事業 (平成 年度迄)

実施根拠 (法令、条例等)  
観光立国推進基本法

事業運営方法  直営  一部委託  全部委託  補助等

委 託 先  民間  三セク  NPO  学校  自治会・地縁団体  
 その他 ( )

## 事業概要

◆ 課題・目的 (どのような課題を解決するために実施した事業なのか)  
 地域の特色を生かしたイベントへの支援を行うことにより、市にある観光資源をPRしながら観光入込客及び観光消費額の増加を図り、イベントの運営等とおして参加する市民の一体感を醸成するとともに地域の活性化を図る。

◆ 活動内容 (具体的にどのような活動を行ったのか)  
 観光客の誘致を図るとともに市民の一体感を醸成するため、商工会や実行委員会が主催する観光イベントに対しての支援を行う。

◆ 対 象 (この事業を実施するにあたり、ターゲットとした者(物)は何か)  
 観光入込客及び参加者  
 観光関連市内業者

◆ 結 果 (この事業を実施したことにより、どのような効果または結果が得られたのか)  
 イベントの実施により、観光入込客及び観光消費額が増加し地域経済の活性化が図れた。イベント運営等を通して参加する市民の一体感を醸成でき地域の活性化を図れた。

指 標		単 位	18実績	19実績	20予算	21計画
活 動 指 標	① 補助金交付					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
			精 査 途 中			
対 象 指 標	① イベント関連入込者					
	② 観光消費額					
	③					
			精 査 途 中			
成 果 指 標	① イベント関連入込客数の増					
	②					
	③					
			精 査 途 中			

市民や議会等からの要望・意見 (要望や意見の内容とその内容を確認した手段は何か)

## 近隣市町村や民間企業での同種事業の実施状況

京丹波町においては、合併後、花火への補助金を廃止

決算(予算)額		(千円)	10,605	10,341	8,231	8,083
財 源 内 訳	使用料・手数料等	(千円)	0	0	0	0
	国・府支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	10,605	10,341	8,231	8,083
職員従事時間		(人)		0.10		
人件費 ※		(千円)		759		
トータルコスト ※		(千円)		11,100		

※人件費は、職員の給与・諸手当・共済などから、一定の基準に基づき算定したおおよその額です。  
 ※人件費およびトータルコストは、あくまでも参考値です。

【公共性の評価】

- (1) 行政の守備範囲 (民間や市以外の機関等が実施すべき事業ではなかったか)
- 法令等により定められた事業     市が実施すべき事業     行政内部の事業
- 民間等での実施は見込めない     民間等での実施も可能

説明: 商工会等民間が実施する事業に対する補助である。

- (2) 事業選定の妥当性 (事業の目的や意図が政策や施策の目指す方向にあっているか)
- 施策等の実現に向けた事業     施策等の方向とマッチしていない

説明: 趣旨に合致している。

- (3) 対象の妥当性 (事業の本質から考えて的を得た対象を定めているか)
- 本質に沿った対象である     的を得た対象となっていない

説明: 趣旨に合致している。

【有効性の評価】

- (4) 課題解決への有効度 (目的の達成や、課題解決のために有効的な事業か)
- かなり有効的     当初の予想どおり     予想しても有効的でなかった

説明: 観光振興の効果が高い。

- (5) 施策実現に対する有効度 (総合計画の施策実現に対して有効的な事業か)
- かなり有効的     当初の予想どおり     想定よりも有効的でなかった

説明: 市の知名度の向上、市民の一体感の醸成に寄与している。

- (6) 成果向上の余地 (施策実現に向け更なる成果向上の余地はあるか)
- 大きい     小さい     無い

説明: 類似イベントの統合等による効果的な事業の実施

- (7) 類似事業との統合・再編・連携の余地 (他の類似事業と統合や連携ができないか)
- 統合や連携等の検討可能     統合や連携はできない     類似事業がない

説明: 観光宣伝事業、観光協会事業との連携、相乗効果が見込まれる。

新たに生じた課題・解決できなかった課題等

旧町の伝統などもあり、開催日が重複したり、近接することもある。

改革案 (いつ、どのような改革を、どのような手段で行うのか)

運営の効率化や集客上のメリットのために、イベントの日程調整や類似イベントの統合などを各主催者とともに検討・試行しながら進める。

【緊急性の評価】

- (8) 課題解決への緊急度 (なぜ早期に実施しなければならなかったか)
- 法令等により期限がある     他事業よりも効果が大い     早期の取り組みが必要
- 他事業よりも優先度が高い     市民の生命・財産を守るため     緊急性は低い

説明: 観光入込客の増加を図る上で効果が高い。

【効率性の評価】

- (9) コスト削減の余地 (事業内容、職員労力、仕事の進め方などから)
- 削減の余地あり     削減の余地なし

説明: 事業支援の補助であり、削減の余地は少ない。

- (10) 受益者負担の適正 (社会状況等から受益者の負担は適正か)
- 正当な受益者負担     見直す必要あり     負担を強いる事業ではない

説明: 主催者の負担と市の補助により、効果的な事業が実施されてる。

【協働性の評価】

- (11) 市民との協働による事業実施 (協働による実施を検討したか)
- 協働事業には不向き     協働では実施していない     協働で行ったが主体は行政
- 協働で行ったが住民主体は一部     市民等が主体となって実施

説明: 団体等が中心となって実施されている。

- (12) 協働事業としての推進の余地 (今後、協働による推進できる余地はないか)
- 余地あり     余地なし

説明: 実行委員会等への新たな団体等の参画への可能性がある。

所 属 長 総 括 評 価

市民、各団体が地域と一体となった観光イベントの支援は、地域の活性化を図る上でも有効と考える。しかし、一方で、課題として開催日の重複、近接や類似事業の統合、再編、連携を早急に検討する必要がある。

※事務局使用欄

一次評価	廃止	観光宣伝事業と事業統合した上で、市をPRするイベントであれば補助をだすこととしてはどうか。
二次評価	要改善 (拡大)	地域の良さをPRしたイベントになっているが、一大イベントとなるよう開催時期等の調整、改善を図る。